

時事新報の實業論

我開國既に四十年殊に王政維新以來は専ら西洋の文明主義に従ひ百般の國事面目を改めて新日本の名を成すに至りし程の次第なれども其面目を改めて新日本の名を成すには政治法律學問教育等精神上の事にして實業の區域には見る可きもの其だ少なし政體は立憲に變じて帝國議會を開き紛れもなき文明の政を行ひながら商賣工業の社會は今尚ほ之を舊時の町人職人に一任し士流學者の度外視する所を爲りて曾て改進の實を見ず偶々其間に人物の出るとあるも高緯中の一紅、世間に之を認る者なく全面的風光寂々々々として氣格を吐かざるも不釣合の沙汰なれ之を要するに日本の開國は唯是れ無形精神上の開國にして實物界は今日尙ほ鎖國の中に在りて云ふ可し然るに恐る可きは人事の大勢にして斯くまで人に見捨てられたる實業も近年は次第に發達して外國貿易の如きは較十年前間に二倍半の増加を現はし隨て内國の製造業も之に伴ふて進歩し其勢は嚴冬積雪の中既に春陽の發動を催はすもの如し此時に當りて我商社會の人は進退を如何す可きや退て積雪中に沈伏して僅に呼吸せんとするか進で春陽に乗じて羽翼を舒さんとするか其一身の利害のみならず國運の關する所なり我社も見る所あり開國以來の情勢を論じて實業社會の實を詳にして以後の大方針を示さん爲め實業論一編を草し本月末より十數日間を時事新報紙上に掲げて大方の教を乞はんとす

時事新報社

時事新報

冒險と實業

冒險とは字義の如く危險を冒するにして實業は着實を旨とするものなり兩者相容れざるが如くにして却て相離れざるは事を遂げ利を求むるの目的に於て其歸する所を同ふればなり近來日本人の中にも冒險的事を企つるもの少なからずして一般の社會に於ても之を賞賛するの傾きあり此頃評判の喧しき福嶋陸軍中佐の騎馬旅行の如き又都司海軍大尉の遠征探險の如き著しきものなる可し前者の旅行は軍事上、士氣を鼓舞するの一點に於て効能少なからざるも實業には縁の遠きものとして後者の企は素より實業を主として目的とする所は専ら殖民拓地漁獵に在りて云ふ其目的果して然りとすれば是は實際の方法手段、地を撰ぶの前後緩急等に付き如何なるに非ざれども其實業と云ふ中にも自から武邊の意味もあるもならんれば姑く之を擲き抑も虎穴に入らずんば虎子をせず商賣に企業に奇利を博せんとするに危險を冒さざる可らず實業と冒險とは相伴ふものを知る可し彼の米國の如き今日世界の富國にして航海の業も頗る盛なれども其昔は幼稚の時代には船を造らんとして金なきに苦しみたるより止むを得ず冒險の手段に出で、造船に變則の工風を運らし當時一般に用ひられたるものに比すれば極めて簡單にして極めて粗末なる船を造りて之を試みたるに其結果意外にして舊式の構造中に無益の長物あるを發見し次第に種々の改良工風を加へて遂に造船の術を一歩新し航海の進歩を致したるものなりと云ふ即ち彼國の

航海業は冒險の結果に外ならずと云ふも可なり冒險と實業と離る可らざるは右の如くなれども然らば古今社會の實際を見るに身に一錢の貯もなく又前途の目的もなき無謀の壯年輩が只その血氣に任せて漫に事を企て一躍起つ能はずして一身を容るゝにさへ處なきに若しむものある其反對に實業を事とする商賣人の輩は只管着實を旨として危險を冒すことを恐れ是れも危險なり彼れも不安心なりとてさすく危險を避けてます

安全を求め其極は遂に商賣の本色を失ふて一切の有金を人に預けて僅々の利息に安んずるか甚だじきは之を金庫の中に藏めて死守せんとするものさへなきに非ず双方共に極端に失して一身の爲めに謀りても得策に非ざるのみか實業の發達進歩に關係するも大なるものなれば其間に處して宜しきを失はざるの手段は經世家の大に注意す可き所なり今の日本の社會は恰も此情態を呈するものにして一方に封建士族の遺流もしくは其遺流を酌んで精神上に士化したる壯年血氣の輩甚だ少なからず此輩は本來資本の貯もなく事業上の實際にも乏しきに拘はらず其企つる所は一として冒險に非ざるはなし而して其結果を如何と云ふに俗に云ふ士族の商法にして失敗又失敗、家を破り身を亡ぼしたる例は少なからざれども其處が即ち士族の遺流たる所にてますく盲進してますく無謀の狂態を逞ふするものなきに非ず今この輩に向て冒險を勧むるは恰も火上に薪を加ふるに異ならず危險至極と云ふ可きのみ然るに一方を顧みれば豪商金満家の流は全く反對にして只退て安全を守るの一事のみに屈托し其家の本色たる尋常の商賣企業さへも危険なりとて成る可く手を縮め心身屈強の男子にてありながら恰も自ら孤兒寡婦の謀を爲し公債證券を枕にして空しく眠食するもの多し其有様は水を凝結せしめて氷と爲すが如く流動蒸發の働は望む可らず左れば社會の先輩たるものは能く此兩端の事情に注目して一方の壯年血氣の輩に向ては務めて着實を説て無謀の舉動を制し又一方の富豪翁守銭奴の徒に對しては頻りに冒險を勧めて始めて平均を得るに近かる可し近來世間に冒險を悦ぶの風を生じたるは甚だ妙なりと雖も其れを悦ぶの餘り或は火上に薪を加へて忽ち後悔するの掛念なきに非ず讀者の取らざる所なれば社會先輩の人々は一方に薪を加ふるの愚を爲さず専ら水を注いで火勢を鎮するの工風を運らすと同時に其薪を他の一方に移して水を溶解し流動蒸發の効用を全ふせしめんども我輩の希望する者なり

時事新報

雜報

校方伯 同伯は先日來風邪に罹り一時は熱度も上り醫師も心痛せし位なりしが昨今は快方に赴き唯だ咽喉に故障あるが爲め醫師の勤めにより一切來客を謝絶し加養中なり

松方幸次郎氏 是先年米國ニウヘンソンのエール大學を卒業し歸朝の上、松方伯の總理大臣在職中に秘書官同様に政務を助けしが又々遊學を思ひたち來月八日頃出發して米國シカゴ府の博覽會を一覽し英國に赴きケンブリッヂ大學に入り暫らく勤學する積りなる由

改革談に就き 昨今至る處改革の噂あらざるはなく官吏の二百十日とも云ふべき今日なるが素早く高利貸連の中には俄かに多くの手代を派して日々諸官者に往復せしめ未だ辭令をも握らざるに未來の恩給年金

憲兵隊檢閲

三間憲兵司令長官は來四月上旬宮城、名古屋、大坂を始め全國各地の憲兵隊檢閲として計官其他を伴ひ出發する由なり

曹洞宗の協議委員會

曹洞宗の總本山にては已に本紙上に記したる如く井上伯の懇諭に依り去る二十一日より愛宕下青松寺に調和の協議委員會を開く事と爲りしが該委員は双方とも兩名づつにて當日は双方より相互に調和に關する協議書を提出し夫より種々協議する所あり尙ほ引續き日々協議を盡し居るよし尤も其折合上何分多少の衝突を免れずして未だ結局に至らずと云ふ

小學校に泳水一科を置くの計畫

暖の時節より夏季に於て諸學生及び少壯年者は運動の一として品海又は墨田の上流に短艇競漕會等を催す事なるが右に付日本橋區の學務委員等は學生に於て船漕漕事は固より熱練し居るならんが若し誤つて落入るか又は暴風雨に出逢ひ萬一顛覆する等の事あるも泳水を得得居らざれば自然溺死するの恐れあり已に學習院官立學校には其設けられれば勞苦區内の小學校に泳水の一科を置き夏季に際し有志の者は大川に於て教授せしむる事になさんものと目下計畫中なりと云ふ

大坂築港の市條例

大坂築港の計畫に就ては此の程理事者より市會議員財產家等の意見を叩きたるに賛成の意を表し且各都より委員を撰舉するに決したるより同市參事會に於て委員設定に係る市條例を編制し此條例を議定する爲め來る二十八日より臨時市會を開くと云ふ

東京盲啞學校生徒の増加

同校は創立以來年々生徒増加し來りしが本月に至り初て百名に達し内三十八名盲生にして六十二名啞生なり同校は今の程度試驗を終り本月中は休業し來る四月一日より始業するよし

日本紡績聯合會

日本線紡績聯合會は來る四月二十日より大坂商業會議所内に開く筈にて其重要な議案は二十六年度同會事務所の經費豫算額凡三千五百圓餘の收支を議定し續て繼續問題として第五議會に對する輸入棉花關稅免除の運動方等を協議するよし

大坂土木株式會社

日本土木會社が都合により閉鎖するに際し大坂の紳商土居通夫氏外十四名が發起となり大坂土木株式會社を創立せんとすの計畫あるよしとて本紙上に記載せしが右は去る二十三日を以て認可されたり其資本金は二十萬圓にて一株五十圓都合四千株なるが内二千株は發起人之を引受け残り二千株は他より募集する豫定にて過くも一兩日中には取附四名と監査役二名の役員を撰舉し取締中より社長を撰舉する筈なり尙ほ同社は舊土木會社より器械及技師等總て引附けられ其準備は充分に整ひ居るよしなり

堂嶋米商會所前米の廢止說

大坂堂嶋米商會所の受渡米格付方は從來前後の二様あり即ち前格付は荷主の求めに應じ會所の標準米に照して後格付は荷主の求めに應じ後格付は賣買受渡の際格付を爲すものなり左れば前後格付にて當時定めたる價格は受渡實際の時價に引直す事の出來ざるより米價騰貴の折には随分苦情の種となるものと云ふに此頃同仲買人中に此前後格付を廢止し將來後格付のみを用せんとて彼是協議したるも今特に之を廢せば急々從

來の弊害を確は從前の確實可しと議決し

Table with multiple columns and rows, likely a schedule or list of events. Includes times like '午前九時' and '午後七時'.

Table with multiple columns and rows, likely a financial or statistical report. Includes columns for years and values.